

令和5年度
日本河川教育学会 第3回全国大会

日本河川教育学会研究発表会

【大会テーマ】

川との豊かなかかわりを創る
—河川教育の未来に向けて—

主催

日本河川教育学会

後援

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所

三重県教育委員会

津市教育委員会

三重県市町教育長会

公益財団法人 河川財団

公益財団法人 中国地域創造研究センター

令和5年10月14日(土)

会場 三重大学教育学部

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
電話：059-232-1211 (代表)



大会日程

○研究大会プログラム

- 9:50 午前 Zoom 接続開始・接続確認
10:00 開会にあたって (日本河川教育学会 金沢緑 会長) 教室 A (201 教室)
10:10 ミニシンポジウム 「河川教育の価値とは」 教室 A
11:30 ポスター発表 廊下等 (~12:30)
12:00 昼食 教室 教室 A
13:00 河川教育屋台村
化学実験室・生物実験室・地学実験室・教室 B(302 教室)・教室 C(303 教室)
13:50 午後 Zoom 接続開始・接続確認
14:00 日本河川教育学会 総会 教室 A
14:30 開会にあたって (河川教育学会会長：金沢緑) 教室 A
14:40
【第1分科会】教室 A 【第2分科会】教室 B 【第3分科会】教室 C
16:25 閉会宣言・教室 A
16:30 終了

◎Zoom(1) ミニシンポジウム・総会・第1分科会に参加する。

us06web.zoom.us/j/2347499238?pwd=b3gyeHdRWnpSVUUrenJOSXNjbE9jdz09
ミーティング ID: 234 749 9238 パスコード: houhou21

◎Zoom(2) 第2分科会に参加する

us02web.zoom.us/j/8724970840?pwd=SEd2Vm13dFQyN3IxbU5Bc3c3eTRLdz09
ミーティング ID: 872 497 0840 パスコード: euglena23

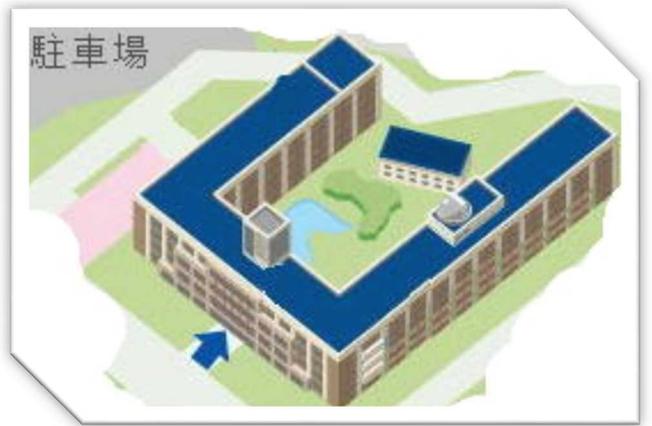
◎Zoom(3) 第3分科会に参加する

us06web.zoom.us/j/88931515500?pwd=MPwB9tRswP54CPJP9WbbveidwCBoA2.1
ミーティング ID: 889 3151 5500 パスコード: houhou23

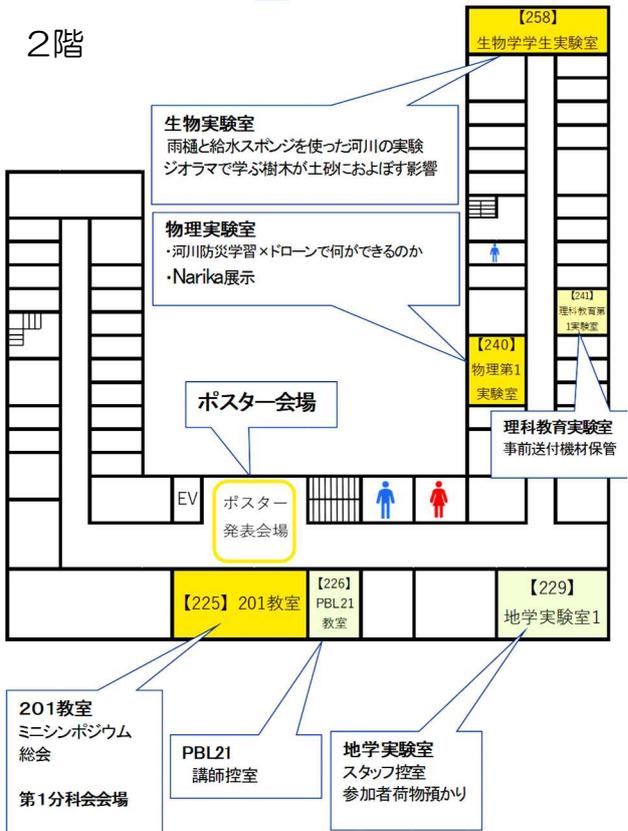
★参加の場合、上記 <https://> から始まる URL 等にてご参加ください

三重大学教育学部 会場図

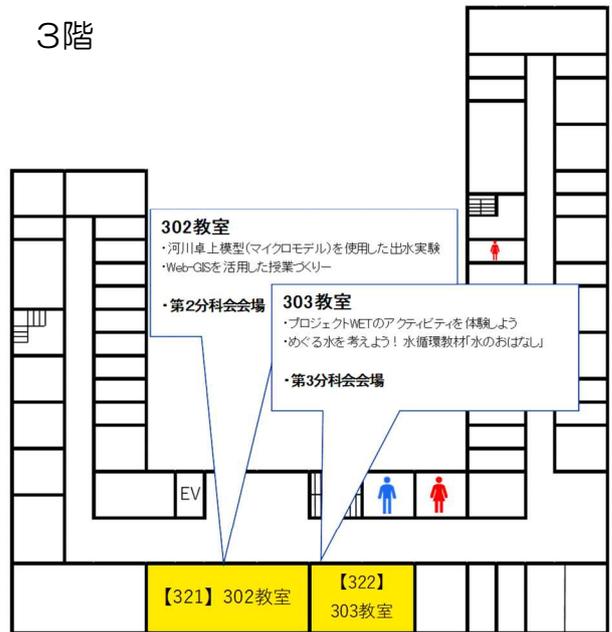
1階



2階



3階



ミニシンポジウム (10:10-11:30) 教室 A (201 教室)

テーマ 『河川教育の価値とは』

シンポジスト

文部科学省初等中等教育局 藤野 敦 視学官
広島大学 角屋重樹 名誉教授
公益財団法人河川財団 河川総合研究所 天野邦彦 所長

コーディネーター 日本河川教育学会 金沢 緑 会長

シンポジスト紹介

文部科学省初等中等教育局 藤野 敦 視学官

〈略歴〉



令和5年 中学校、中高一貫校、高等学校教諭、東京学芸大学附属高等学校教諭を経て平成26年 国立教育政策研究所 教育課程調査官（兼）東京学芸大学教育学部講師、文部科学省 初等中等教育局教育課程課教科調査官を歴任し、令和2年4月より現職

広島大学 角屋重樹 名誉教授

〈略歴〉



三重県伊勢市生まれ。広島大学教育学部助手、宮崎大学教育学部助教授を経て、文部省初等中等教育局教科調査官、広島大学大学院教育学研究科教授、広島大学付属福山中・高等学校校長併任、広島大学副理事、国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部部长、日本体育大学大学院教育学研究科長を歴任し、令和4年3月退職。
文部科学省では、中央教育審議会専門委員、初等中等教育局視学委員、中央教育審議会専門委員を務める。広島大学名誉教授、国立教育政策研究所名誉所員

公益財団法人河川財団 河川総合研究所 天野邦彦 所長

〈略歴〉



昭和62年 京都大学大学院工学研究科修了、同年建設省入省、土木研究所水資源開発研究室、国立環境研究所水環境工学研究室、土木研究所河川生態チーム上席研究員、国土技術政策総合研究所河川環境研究室長、浜松河川国道事務所長、国土技術政策総合研究所河川研究部長、研究総務官、所長を歴任し、令和4年4月より現職

ポスター発表 (11:30-12:30)

2階ホール

- ① 岩田孝治(国土交通省 三重河川国道事務所)
 - 【雲出川】(環境活動・防災教育)三重河川国道事務所の取組

- ② 山本大輔(豊田市矢作川研究所)・深見隆之助(豊田市森林課)
弘中陽介(豊田市環境政策課)
 - 豊田市における流域学習プログラムの試行

- ③ 三橋雅子(大阪工業大学)
 - 淀川下流域の生態相の変化と、その社会的要因に関する大学での講義 —『淀川学』から—

- ④ 長谷泰昌(北海道教育大学釧路キャンパス)
 - 釧路湿原の水質と植生の調査を通して

- ⑤ 金沢 緑(日本河川教育学会)
 - 北海道東部地域における河川教育の普及

- ⑥ 岡田百花(三重大学教育学部附属中学校 1年生)
 - 雲出川の摩耗作用と選択分級作用について

休憩 12:30-13:00

河川屋台村 (13:00-14:30)

化学実験室・生物実験室・地学実験室
教室 B(302 教室)・教室 C(303 教室)

日本河川教育学会総会 (14:00-14:30) 教室 A(201 教室)

研究発表 ・ 第 1 分科会 (14:40-16:05) 教室 A(201 教室)

座長 角屋 重樹 発表 15 分 質疑5分

- ① 真田誠至 (福山大学)
 - 大学生が保育園児に「川遊び」で伝える河川教育の実践
- ② 荻原 彰 (京都橘大学)・小田隆史 (東京大学)
 - 河川教育スタンダードの提案
- ③ 前田昌志 (三重大学教育学部附属小学校)・荻原 彰 (京都橘大学)
 - 小学校高学年における流域タイムラインの教材化と実践
- ④ 神永典郎 (白百合女子大学)・境 智洋・山中謙司 (北海道教育大学)
 - 「河川教育」を取り入れる教育的価値とは何か

研究発表 ・ 第 2 分科会 (14:40-16:05) 教室 B(302 教室)

座長 大鹿 聖公 発表 15 分 質疑5分

- ⑤ 橘 淳治 (神戸学院大学)
 - 児童生徒と教員による大阪の河川環境調査
一簡易水質検査法と公定法による水質マップづくり
- ⑥ 田中耕司 (河川情報センター、大阪工業大学・福井大学・兵庫県立大学大学院)
谷・三橋・杉浦・西山・内田 (大阪工業大学)
 - 社会的共通資本の概念に基づく淀川学の創設とその思い
- ⑦ 井手弘人 (長崎大学)・畑島英史 (長崎県対馬市立佐須奈小学校)
 - 河川における学びと「地域知」
- ⑧ 吉富友恭 (東京学芸大学)
 - 流域水循環に関する動画コンテンツの開発と活用

研究発表 ・ 第3分科会 (14:40-16:25) 教室C(303教室)

座長 山中 謙司 発表15分 質疑5分

- ⑨ 吉田安理沙 (多摩市立連光寺小学校)・吉富友恭 (東京学芸大学)
 - 水循環の概念の形成に着目した環境教育プログラムの実践と評価

- ⑩ 藤江浩子 (福山市立大津野小学校)・金沢 緑 (元関西福祉大学大学院)
 - 小・中学校における河川・防災教育のための情報源とその使い方
ー災害時における避難開始の判断と根拠についての調査を通してー

- ⑪ 宍戸文絵 (帯広市立豊成小学校)
 - 川・水にかかわる学びの広がり
現場教員によるカリキュラムマネジメントの重要性

- ⑫ 渡辺友美 (東海大学)・大石侑香 (神戸大学)
 - 「巡回企画展 キョクホクの大河」の開発と実践
ー河川を捉える視点の提示ー

- ⑬ 長谷泰昌 (北海道教育大学釧路キャンパス)
 - 理科の見方・考え方を活かし、地域の自然環境への気付きをうむ授業の検証
ー釧路湿原における体験学習を通してー

終了 16:30

エクスカージョン 15日 (9:00-12:00)

(1) エクスカージョンの集合場所は、津駅西口に8時45分までに集合ください。

【集合場所】

日本河川教育学会 エクスカージョン



(2) エクスカージョンの終了時刻は12時ですが、交通事情により若干前後する可能性があります。津駅西口で解散となります。

日本河川教育学会 エクスカーション

令和5年10月15日

行程表（案）

8:45	津駅 東口ロータリー 集合	※停車場所は、バス会社と要調整
9:00	出発	
移動（30分）		
9:30 (45分) 10:15	①雲出川漁協の取組について	雲出川10k左岸 小野江頭首工付近
移動（10分）		
10:25 (10分) 10:35	②粘り強い河川堤防・開口部（自然遊水地）	雲出川8k左岸付近 （雲出川の歴史）
移動（15分）		
10:50 (15分) 11:05	③香良洲 高台防災公園	河川・津波防災 連携事業 （兼トイレ休憩）
移動（5分）		
11:10 (25分) 11:35	④雲出古川 カワウの営巣地	ドローンを活用したカワウ対策
移動（25分）		
12:00	津駅 到着	

